

白石区複合庁舎(新・白石区役所) 平成28年11月7日から供用開始

白石区役所や白石保健センターが入居する白石区複合庁舎が平成28年11月7日にオープンすることが決まりました。庁舎の1階には、旧白石村の開拓の歴史を紹介する展示や交流スペースなどを設けた郷土館が、白石区内で初めて開設されます。



完成予想図



建設工事が進む白石区複合庁舎

北海道議会議員
〈札幌市白石区〉

森しげゆき通信



2015

秋・冬号

開業日、3月26日に決定!

北海道新幹線「新函館北斗」駅を視察



北海道新幹線・新函館北斗駅の開業日が明年3月26日に決まる中、道議会公明党議員団として、9月4日、完成したばかりの新駅舎を視察しました(写真上)。

引き続き、函館市役所で工藤寿樹市長と(同右)、また北斗市役所で高谷寿峰市長と懇談しました。

この中で、観光客を他の観光地へ運ぶバス、JR、航空機などの2次交通の課題や混雑が予想される開業当日のイベント運営になどについて意見交換しました。開業に向けて着々と準備が進む中、新幹線の開業効果が全道に波及するよう全力で取り組んで参ります。



東京～新函館北斗直通列車は1日10往復に

JR北海道は、9月16日、北海道新幹線の新青森～新函館北斗間の開業日が3月26日に決定したと発表しました。

運転本数は、東京～新函館北斗間直通列車の「はやぶさ」が1日10往復、仙台～新函館北斗間直通列車の「はやぶさ」が1日1往復、盛岡～新函館北斗間、新青森～新函館北斗間直通列車の「はやて」がそれぞれ1日1往復、合計で13往復となっています。



写真:試験走行する北海道新幹線H5系車両 JR北海道提供

また、函館～新函館北斗間は新幹線アクセス列車「はこだてライナー」が全ての新幹線に接続され、17分で結ばれる予定です。

調査・視察で東奔西走! その②

水素で走る燃料電池自動車に試乗



5月8日、道及び道内の自動車ディーラーが主催する「次世代自動車展示会」が、道庁赤れんが庁舎前広場で行われ、道議会の前環境生活常任委員会委員長として、高橋はるみ知事とともに参加しました。

この日は、昨年12月に発売された燃料電池自動車が展示され、さっそく試乗。静かで安定性のある走りを体感しました。

プロフィール

- 昭和28年6月12日 香川県坂出市生まれ
- 昭和47年 国立詫間電波高校(現香川高専)卒業
- 昭和56年 神戸大学経済学部卒業
- 平成6年 時事通信社退職(22年間勤務)
- 平成7年 北海道議会議員初当選
- 平成27年 同5期目当選
- ◆北海道議会 農政常任委員会理事、新幹線総合交通体系対策特別委員会理事
- ◆公明党北海道本部 幹事長
- ◆北海道議会 公明党議員団 団長

森しげゆき事務所

〒003-0025 札幌市白石区本郷通2丁目北3-21
TEL 011-860-4151/FAX 011-865-9043
URL <http://kmplan.net/usr/mori/>
E-mail sigemori@seagreen.ocn.ne.jp

発行:森成之/編集:ケー・エム・プラン

議会こそ本舞台！

議会こそ議員として本領を発揮する本舞台。6月24日には、統一地方選後最初となる道議会定例会本会議で代表質問に、また9月25日には予算特別委員会で質問に立ち、様々な課題に対する道の対応を引き出しました。

統一地方選後、最初の代表質問で――

“ドクターヘリ空白地域解消”実現！再三の訴え実る

○ドクターヘリの空白地域解消を

質問 道内のドクターヘリ空白圏域の解消に向けて取り組んでもらいたい。

答弁 道東・道北ドクターヘリの十勝圏への運行圏域拡大に向けて基地病院や関係機関との調整を行っている。

■11月から十勝圏もドクターヘリでカバーされる地域になり、議会等で再三訴えてきた道内全域カバーが実現しました。

○児童の自立支援対策として基金の設置を

質問 道内には23カ所の児童養護施設に約1,300人の子ども達が入所しており、自立して安定的な生活ができるよう支援のための基金を設置すべきと考える。

答弁 退所児童の就学・就職など総合的な支援策を検討する中で、基金の設置も含め可能なものから取り組んでいく。



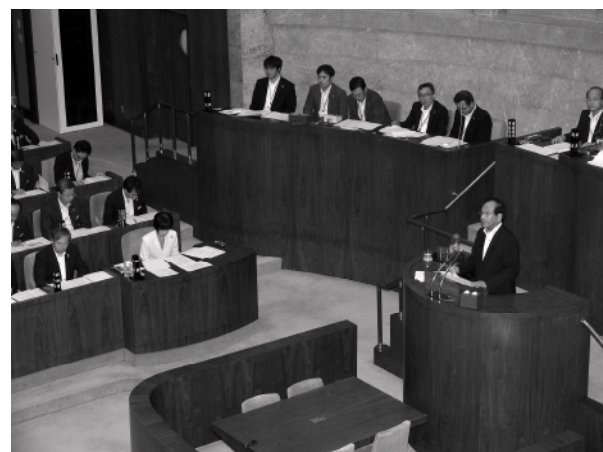
9月の予算特別委員会で

○新函館北斗駅開業に向けて地元自治体に道職員の派遣を

質問 開業に向けて取り組んでいる函館市や北斗市などに道職員を派遣するなど、人的支援をすべきであるとする。

答弁 自治体の意向も踏まえながら、連携強化に向けた支援の拡充について検討していく。

■11月から函館市に道職員を派遣することになりました。



道議会本会議場で

札幌発の「再生医療」を強く後押し

札幌医大関係者と3回目の意見交換



医大内の救急救命センターも視察

9月14日、札幌医科大学を訪問し、現在、再生医療に取り組んでいる脳梗塞と脊髄損傷の治療状況を聞くとともに、付属病院の設備などを視察しました。

脳梗塞、脊髄損傷ともに高い治療効果が現れており、脊髄損傷では「予定よりも早く治療が終了することが見込まれる」との説明があり、早期実用化に期待を寄せています。

また、糖尿病治療への再生医療の取り組みについても、担当の教授より説明を受けました。

道議会公明党としても、一日も早い実用化に向けて治療が進むよう、さらに支援してまいります。

J R日高線の不通箇所を視察

8月25日、J R日高線の不通箇所を視察し、地元町長などから要望を受けました

今年の1月、低気圧の影響でJ R日高線の厚賀・大狩部間の線路際の土砂が流出、以来、鶴川・様似間が不通になっていることから、8月25日、災害の現場を視察しました。



現地を視察した後、浦河町の日高振興局に移動、管内各町の町長・副町長などと懇談、地域住民の生活への影響や、今後の要望などを伺いました。

なお、9月2日、J R日高線の早期再開に関して、道に緊急の申し入れを行いました。



※写真上は線路際まで浸食されている箇所の視察、同左は町長・副町長との懇談

深刻な住民の足への影響――

日高振興局管内の町長・副町長と今後の対応を協議

予算特別委員会でも質問

○保健福祉部所管

児童虐待対応件数などの増加に伴う児童相談所の拡充について、また高齢者の在宅生活を支える体制づくりについて質問しました。

○環境生活部所管

北海道新幹線「新函館北斗」駅などに縄文遺跡から出土した中空土偶やアイヌ文化の生活用具などの文化資源を展示してはどうかと質問しました。

○総務部所管

地方の医師不足解消のために、札幌医科大学の更なる取り組みについて質問しました。